



よしのがり

47号

平成30年 9月定例会



表紙／子ども議会

【第46号の内容】

- 決算特別委員会 2
- 9月定例会 4
- 議案賛否状況 5

- 一般質問～9人が登壇 6
吉富光三郎・森田 浩文・立石 良雄・古川 清春・馬場 茂
古川 勲・城島 敏行・生島信一郎・伊東 和孝
- 要望活動 14
- 議会報告会 15
- 研修報告・意見書・編集後記 16



議員が原稿作成・編集した
議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム ディー&ビー 【発行年月日】平成30年10月25日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ

<http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>

にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」
をクリックしてください。

平成29年度 決算認定 決算特別委員会で決算審査

会計別決算状況

会計	歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計	83億4,378万円	81億4,675万円	1億9,703万円
国民健康保険	22億 677万円	18億5,585万円	1億5,092万円
下水道	8億1,153万円	7億8,348万円	2,805万円
簡易水道	272万円	268万円	4万円
後期高齢者医療	1億6,843万円	1億6,499万円	344万円
工業用地造成事業	7,602万円	4,916万円	2,686万円
合計	114億 927万円	110億 291万円	4億 635万円

※決算書の数値は端数調整をしていないため、合計額は合致しない。

決算特別委員会報告

平成29年度一般会計、特別会計の5会計決算について、平成30年9月4日～6日までの3日間において歳入歳出決算書、監査委員の決算審査意見書等を基に審査を行った。

【一般会計歳入歳出決算】

収入未済額は5,656万円で、不納欠損額は51万8千円。収入未済額の主なものは、町税が3,080万4千円、使用料及び手数料の2,511万4千円である。

【国民健康保険特別会計歳入歳出決算】

収入未済額3,543万3千円、不納欠損額104万9千円。

【下水道特別会計歳入歳出決算】

収入未済額528万5千円、不納欠損額47万8千円。

【簡易水道特別会計歳入歳出決算】

収入未済額、不納欠損額はなし。

【後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算】

収入未済額5万7千円、不納欠損額はなし。

【工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算】

収入未済額、不納欠損額はなし。

執行部において、決算特別委員会における質疑意見等については、さらなる認識を深め、職員一丸となって平成30年度下半期の予算執行並びに31年度の予算編成に生かしていただくことを熱望し、決算特別委員会の報告とする。

決算審査特別委員会委員長 馬場 茂

決算審査意見書

平成29年度各会計の歳入歳出決算審査の結果、地方自治法施行規則第16条及び第16条の2に定められた様式を備えており、計数は関係帳簿と符合し、正確であると認められた。

歳入については、国庫支出金、国債等債券市場の変化に伴う基金運用益の低下の影響を受けた財産収入の減が要因となり、前年度比2億1,544万円、25%減少となっている。

歳出については、農林水産業費、商工費、教育費の増加はみられるが、総務費と民生費の減少幅が大きく、前年度比2億5,424万円、3.0%減少となり、決算規模が縮小している。（意見書より抜粋）

監査委員 寺崎 泰法
古川 輝英

決算特別委員会 一般会計

QA 質疑応答

質問 住宅使用料の滞り納繰越分が昨年度より500万円ほど増加しているが回収できるのか、どのような手法でやるのか。

答弁 現在、夜間の呼び出しと、こちらから自宅に出向き、悪質な滞納者については分納的な形の誓約書を取っているが、最終的には訴訟も考えなければならない。

質問 住宅の空き駐車場を勝手に使用している者から、その班長が一月千円を徴収しているとの聞いた。駐車場の管理は誰がやっているのか。

答弁 管理については建設課住宅係で行っている。各棟に管理人がおり、空きの情報も伝えて違法駐車があれば連絡してもらい、見つけ

質問 トムソーヤの森はこのままでいいのか、今後の活用をどうするのか。

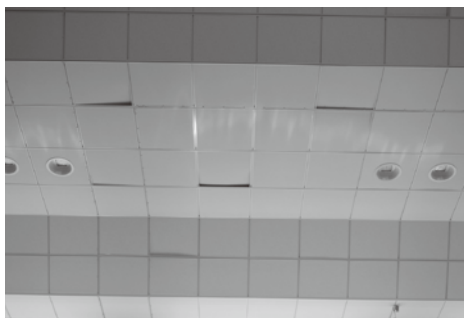
答弁 今後もキャンプ場として活用していきたいが、施設も老朽化しているので県知事に相談をし、県の企画課と調整中である。

質問 財産運用収入が49万円ほど減少しているが、運用利回り、債券12億円分を売却された根拠は何か。

答弁 減少理由は28年9月に導入された日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策により、長期国債の金利が概ね0%で推移するように調整された事によるものである。売却は、3月に少し変

化があったので売却したが、現在は定期預金54億円と債券37億円で29年度と変わらない。

質問 三田川小体育館天井改修工事をやったが、すでに天井が浮き上がってずれている。一年も経っていないので設計上のミスがあったのではないか。



工事後間もない三田川小体育館天井

質問 いじめ対策協議会は何回開催されたのか。それと、いじめの現状はどうなっているのか。

答弁 関係機関の情報共有という目的で、1回の開催をしている。いじめの件数については、29年度小学校で2件、中学校で6件あるが、どちらも冷やかし的なものであった。

質問 戸籍関係でのコピー利用率が1%しかないのは、マイナンバーカードの普及率が低いからではないのか。

答弁 普及率は7月末現在9.02%で、県内9番目である。

今後1人でも多くカードを作ってもらおうと進めていく。

質問 おとなとしゃべり場は昨年からは加者も増えてにぎやかになっているが、その効果をどのように分析しているのか。

答弁 参加者からアンケートを取り、内容についても大人も子供も参加して良かったとい

う意見が多かった。



にぎわう「おとなとしゃべり場」

国民健康保険特別会計

質問 出産育児一時金0万円以上増えている。喜ばしいことだが何名に支払われたのか。

答弁 29年度については11組に支払っている。

質問 一時金の金額は前年度と変わらないのか。

答弁 10組に42万円の支出で、40万4千円の1組は、妊娠22週に達せず出産された方である。



吉富光三郎 議員

【町長】

前町長で同意、これ以上は言えない

モニュメント移設

約130万円の支出は適正か



質問 以前、中国塗料
東側でミニストッ
プ北側に設置されて
いた「風の丘吉野
ケ里」が移設された
が、何のためか。



答弁 商工観光課長 こ
のモニュメントは
吉野ヶ里歴史公園のシン
ボルタワーとして、平成
4年度に県補助事業「観
光整備ルート事業」によ
り設置した。
大型案内板、電柱等で
目立たなかった。
移設先として吉野ヶ里
歴史公園北口附近にシン
ボルタワーとして考えて
いたが、県と協議したが
合意に至らず、現在の場
所への移設となった。



質問 29年度にモニ
メント移設費とし
て128万5200円を
支出されているが適正と
言えるのか。



答弁 町長 確かに指摘
される場所もある
と思う。私自身も場所
が目立つ、目立たないに
も疑問がある。
「今の場所が目立たな
いのでは」と言う意見も
聞いた。

前町長の段階で同意さ
れており、私もこれ以上
は言えない。

現状・利活用について



質問 「みやこうどん」
は（元めいづつ館）
2013年4月1日から



質問 運営されているが、現状
はどうなのか。



答弁 商工観光課長
平成25年度よりN
PO法人ふくしの里神埼
が単年度契約により町内
特産品等の展示、販売及
び観光等の紹介及び情報
の提供を行い、町の活性
化を図ることで管理協定
を締結し、運営を行なっ
ている。
現状は、食堂でうどん
を中心とした飲食物の提
供と地域特産物の販売、
情報提供を行なっており
来客者及び売上額につい
てもオープン当初は少な
かったものの、次年度か
らの4年間は横ばいであ
る。



モニュメント「風の丘 吉野ヶ里」



NPO法人ふくしの里神埼運営



質問 町として、今後
の利活用方法をど
の様に考えているのか。

なお、使用料について
も、土地及び家屋の固定
資産評価から行政財産使
用料として、年額13万
416円徴収している。



質問 商工観光課長 一
定の方向性が決定
しないまま現在に至っ
ている。

現在、吉野ヶ里歴史公
園には年間75万人程の来
園者があるが、佐賀県知
事は来園者を100万人
以上にしたいというなか、
引き続き博物館・資料館
建設との連携施設用地と
して、有効利活用を行
い町の活性化を図ってい
きたいと思う。



森田 浩文 議員

【学校教育課長】

平成31年度実施に向けて協議する

米飯給食の実施は どうするのか



質問 先般実施の学校
給食アンケートで
は保護者の不安が払拭で
きていない結果であるが、
給食食料費の詳細も明確
でない。

保護者へ開示できるよ
う正式な材料費の計算の
指示を求める。また、懸
案である米飯給食実施に
向けた今後の方向性は。



答弁 学校教育課 アン
ケートを重視し、
平成31年度からの完全給
食の実施に向けて協議を
する。



質問 学校給食センタ
ーについて、現在
複数の案が提案されてい
るが、今後の方向性は。



答弁 町長 まずは米飯
給食の実施を行い、
若干、期間が延びるが補
助金の取得に注力し学校
給食センター設立につな
げていく。



質問 豪雨災害対策について
西日本豪雨にお
いて、町内各所で
土砂災害が起きた。本町
において想定外と認識さ



質問 大規模災害にも
対応できるよう、
炊き出し機能を備えた学
校給食施設「食育防災セ
ンター」の建設を目指す
考えは。



答弁 町長 自衛隊への
打診も含めて、早
期に給食施設の基本計画、
実施を行う。



質問 児童虐待対策について
東京で発生した
5歳女児虐待死事



佐賀児童相談所 県内でもH29年度も248件の児童虐待が発生

件を受けて、抜本的な対
策が閣議決定された。
一方、佐賀県中央児童
相談所管内では平成29年
度、248件の児童虐待
が処理されている。直近
の3ヶ年では急増し増加
傾向にある。本町におい
て虐待等の報告はあるの
か。



質問 福祉課長 平成29
年度は5名の報告
がある。30年度もすでに
4名の報告がある。

7月に閣議決定
された児童虐待防
止対策の中で、知的障
がいや発達障がい等がある
児童がいる家庭において
虐待のリスクがあると明
記されている。

子育てに悩む保護者の
精神的なケアが急務であ
る。

そこでスクールカウ
ンセラー等の心の専門家の
存在が重要視されている
が現状は。



答弁 学校教育課 町内
小中学校にスク
ールカウンセラー2名（年
間422時間）、ソー
シャルワーカー1名（年
間340時間）を配置し
ている。

他の質問事項

・高齢者、障がい者への
虐待について
・給食費保護者負担額の
詳細について



立石 良雄 議員

【町長】

平和歴史を学び図書館とドッキングした複合施設になるような考えがある

平和歴史資料館について 町長の考えは

質問 NPO法人、都うどんに協力頂き、一等地に平和記念館建設の構想は。

町長 建設の要望があるのは聞いています。建築構想がある図書館との複合施設のな物を考えている。

質問 教育長としての考えは。

教育長 戦後73年、戦争を直接体験していない私達は、日本の戦争体験の継承は重要な学習課題である。子供達が戦争の恐ろしさを知り、戦争被害者に我がことのように同情する事は平和教育の土台となる。吉野ヶ里町周辺に存在

する戦時遺産が町の平和記念館に集められ、見学、学習できることは子供達だけでなく、町民の平和教育に大きな意義があると思う。

公共施設建設は課題もあるが、図書館など複合施設として前向きに検討したいと考えている。

ダム所在市町村交付金について

質問 ダム対策課と福岡県との話の中で、交付金の概算について買収価格等からして、毎年7千万円という話が出ていたが、当時の記録が残っていると思うが。

答弁 税務課長 記録は存在している。

福岡市水道局との交渉は来年5月が目途である。

質問 交渉は法にかなない、理にかなない、情にかなわないといけな

い。ダム建設には東脊振村時代から犠牲的な協力をしてきた。「義理がすたれば、この世は闇」だと言ってほしい。

町長 積極的に頑張るので知恵と支援をお願いしたい。

不法建築物問題について

質問 不法建築物の撤去は何故進まないのか。周辺は大変迷惑している。費用の一部は行政で持つような話を聞く。



旧目達原飛行場門柱

建てていけない所に建っている。泥棒に追い銭はダメだ。

町長 昨日も町長室で相手側と協議したが最終的に私と12名の議員が話し合って決着したいと考えている。

茶園振興について

質問 ダム振興事業で、茶園整備のため、茶園道路事業が行われたが現在の取り組みは。

800年以上続いた茶の栽培を我々の代で絶やすことはできない。

町長 農林課長 現地調査を行い荒れている所は整備していく。

町長 栄西茶の現状を真剣に考えている。お茶の工場についてもJAの支所長と話し合った経緯がある。今後何かの応援の手だてが出来ないかと考えている。



古川 清春 議員

【町長】

公園・議会等と協議をしていく

本町夏ふれあい祭 花火打上の復活は

質問 今年度は、十数年ぶりに目達原駐屯地内での夏祭りが変更され、吉野ヶ里歴史公園（以下公園）北口で実施された。

町長 今年度の集客数は、過去の集客数は、

町長 商工観光課長 28年度6652名、29年度5253名、30年度9786名、昼・夜の部延べ人員数である。

質問 昨年より集客数が、約4500人増加している。

町長 店舗の数を増やす手段は考えていないか。

町長 商工観光課長 今年度は、商工会青年部・女性部・公園の露

店の店である。出店許可は公園が行っている。

来年度は、実行委員会と公園との協議のうえ増やすのかを協議したいと考えている。

質問 昼間開催の時間の変更や、カラオケ大会等できないか。

町長 商工観光課長 今年度は、これまで行っていた催しと、新たに公園からドラえもんキャラクターショーと教育委員会による「グラウンドゴルフ・フライングディスク・ストラックアウト（フリスビー類似の競技）」を開催した。

今年度も実行委員会、公園、教育委員会と協議し多くの方に参加していただけるイベントを開催していきたいと考えている。



夏祭り昼間のイベントの様子

質問 花火打ち上げの考えは。

町長 商工観光課長 現在、10月ふるさと炎まつり、12月公園が花火打ち上げを行なっている。

夏ふれあい祭の公園北口エリアでの花火打ち上げは困難である。

町長 町長はどのようなように考えるか。

町長 確かに以前は夏祭りでは花火を上げていた。

私も花火を上げる環境が一番だと思う。

会場を借りているものだから、そのことの協議をして、また、後始末のこともあるので検討していかねばならない。

花火を15分から20分上げるとそこにはお金も掛かる。

会場入場者に協賛をしてもらい一発一発増やしていくのも良いと思う。まずは公園と協議をし、予算については議会と協



夏祭り夜間のイベントの様子

他の質問

・役場職員の人事評価について
・学校教育について



馬場 茂 議員

『吉野ヶ里』ネームバリューの活用は

【町長】

職員と共に取り組んでいく

【質問】

『吉野ヶ里』という全国のネームバリュー・各課どの様に活用しているのか。

【答弁】

商工観光課長 町内外の各種イベントやパンフレット、メディア等でアピールしている。

【答弁】

企画課長 ふるさと納税の返礼品において、吉野ヶ里遺跡へ行こうと呼びかけた旅行ギフトを使用し、ネームバリューと合いまって寄附額も好調である。

【答弁】

環境課長 吉野ヶ里遺跡のデザインマンホール蓋を設置しているのと、それらを集めるコレクターもおられる。



デザインマンホール

るので、観光誘致の力にもなると考える。

【答弁】

ダム事業推進課長 春、秋の年2回五ヶ山ダムの水源地域における福岡都市圏の住民と

【質問】

特に商工観光、企画は危機感をもってもらいたい。ダム湖畔に福岡の商業施設ができれば、千坊館も大変になる。インパクトのあるPR活動と思うが、町長の考えは

【答弁】

町長 私一人では仕事はできないので、まず組織づくりから始めて、職員と共に取り組んでいく。

【質問】

文化体育館建設事業について
アクセス道路の進捗状況は。

【答弁】

ダム事業推進課長 検討するに於いてすでに土地を他の用地として活用されたり、農地も農林水産省の国庫補助事業で暗渠排水をされており、用地取得が困難である。

【質問】

そんな事は、全員協議会や勉強会でも今まで聞いていない。なぜ今ごろになって出てくるのか。

【答弁】

ダム事業推進課長 補助事業等で整備された確認が取れていなかった。

【質問】

この周辺の農地、暗渠排水の申請がいつされたのか、そして工事はいつ行われたのか。

【答弁】

農林課長 この事業は、平成23年度で申請し、26年度に実施されている。

【質問】

26年に工事が終わっているのに、今年の5月にアクセス道路の計画書が出ているのは何故か、実際に可能な

【答弁】

ダム事業推進課長 排水管が支障のない範囲でどうにかならぬか協議をしている。

【答弁】

町長 今まで何も出来る所から何とかやっていく。それとインターと中副交差点の拡幅に全力をつくす。

●他の質問

介護保険事業
・里山ふれあい広場



古川 勲 議員

認知症保険に対する公費負担検討を

【町長】

対象家族のアンケートを取り検討する

【質問】

厚生労働省の推計では、2055年の65歳以上の高齢者は3657万人で、うち約700万人が認知症になるとい

【答弁】

福祉課長 国の認知症の男女別・年齢別有病率による本町の推計人数は596人となるが、現状はこれより少ないか。

【質問】

昨年3月からの改正道路交通法に伴う、75歳以上の運転免許自主返納者の状況は。

【答弁】

総務課長 平成26年・27年5人、28年22人、29年40人、30年は

【質問】

高齢者の運転免許自主返納者は、本町ではデマンドタクシーの半額負担を実施しているが、返納者促進のために一年間の無料を加える考えはないのか。

【答弁】

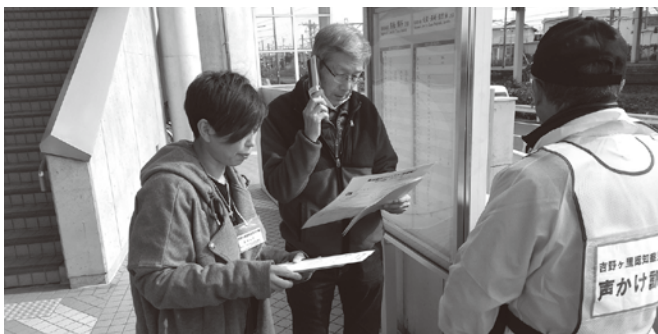
町長 高齢者になるほど利用回数が多くなる。検討はする。認知症を正しく理解し、当事者や

【質問】

家族を支援する認知症サポートは本年6月末時点で1037万人になった。本町のサポート養成や活動はどうか。

【答弁】

福祉課長 平成20年度より認知症サ



よしのがり見守り隊の訓練風景

ポーター養成講座を36回開催し、1242名のサポートがいる。また、社会福祉協議会が主体となった温かい声かけ訓練も5回実施している。

【質問】

5人に1人が認知症になる高齢化社会で、認知症による徘徊中の事故などで家族が損害賠償を請求される事態に備え、公共で民間の賠償保険に加入する自治体が相次いでいるが。

【答弁】

町長 認知症保険の内容を付したアンケートを家族等に行い、前向きに検討する。

【質問】

健康づくり事業のメニューと平成30年度予算は。

【答弁】

保健課長 特定健診やイベントなど、保健課・福祉課・社会教育課・商工観光課で78事業、予算は2億4300万円である。

【質問】

近年の特定健診の受診率はどのくらいか。

【答弁】

保健課長 平成27年度46・8%、29年度44・9%である。

【質問】

各課の健康づくり事業と健康ポイント事業を連携し、がん検診などの有料健診にポイントの利用により、特定健診の受診率の向上やイベント参加者の増加につながると思うが。

【答弁】

町長 便利になる使い方を検討する。

●他の質問

放課後児童クラブ支援員の現状は



第71回県民体育大会結団式



城島 敏行 議員

防災ラジオを 取り入れはできないか

【町長】

安価で買えるのであれば配備は可能と思っている

佐賀市消防防災課は、災害時は様々な伝達手段を確保する必要があり、信頼性の高い受信機として、佐賀市が防災協定を結んでいるFM佐賀が緊急情報を流すと、自動でスイッチが入るラジオを開発して

いる。

吉野ヶ里町に取り入れはできないか。

総務課長 FM佐賀が吉野ヶ里町で受信できるか、問い合わせをし考えていく。

町長 災害情報伝達機器は通常3万円から4万円するが、安価で買えるのであれば、配備が可能ではないかと思っている。



高齢者に対して在宅生活の継続支援は行われているが、緊急通報システム、防災情報伝達は十分か。



福祉課長 緊急通報システムについては、対象者65歳以上の世帯であって、身体上、慢性疾患等で常時見守りを要する方、重度障がい者手帳一級もしくは、二級を受けている方に、緊急時に通報することができる機器を貸与している。平成29年度現在で、契約数が1117件で、月平均で93人の方がご利用されている。

備会社より毎月訪問を行い、安否確認及び機器の点検業務を行っている。

2025年の後期高齢化社会を考えた、高齢者の世帯に防災情報伝達、緊急通報ができる通報システム機器の設置はできないか。

福祉課長 緊急通報システム監視委託をしている警備会社に確認したが、システム上、高齢者が緊急ボタン、相談ボタンを押して回線が繋がるようになっていて、警備会社から一方的に防災情報伝達を高齢者に伝えるのはできないとのことであった。



写真上=聞こえにくい防災無線 写真下=防災無線個別受信機



生島信一郎 議員

町観光戦略の 今後の展望は

【町長】

観光の目玉作りを行っていく



国内外からの観光客をいかにして取り込んでいくのか。



町長 トムソーヤの森を観光収入が入ってくるような施設にリニューアルをしたいと考えている。また、吉野ヶ里遺跡の『本物』を見てもらえるよう、例えば博物館のような関連施設のある町づくりを急ぎたい。



町観光まちづくり戦略推進会議の設置とあるが。



商工観光課長 戦略を立てる上で情報の精査が必要と考え、設置を予定している。



町長 戦略推進会議の設置を早急に行い、次年度以降の策を練っていくようにする。



吉野ヶ里遺跡を世界遺産にという運動が民間で立ち上がったが、世界遺産登録を目指す考えはあるのか。



社会教育課長 平成34年度までの計画で、これまでの発掘調査報告書の作成が行われている。そのため、吉野ヶ里遺跡全体の学術的評価を行う資料が揃っていない。世界遺産登録への動きは時期尚早と考える。



ここ数年、歴史公園との繋がりが

薄いとの声がある。連携は密にとれているのか。



商工観光課長 本年度から夏祭りの会場が公園内になったこともあり、打ち合わせ等で度々顔を合わせている。



町長 就任後、国営、県営、都市計画課にあいさつに伺った。公園と関わりのある課が役場に複数あるため、公園側との窓口は一元化し、役場内で担当課へ回すという形にした方が効率的ではないか。



町長 役場内での課を横断するような情報の共有は徹底させていく。



夏ふれあい祭り会場の吉野ヶ里歴史公園

米飯を含む 完全給食について



保護者アンケートの結果は。



学校教育課長 844名の保護者より回答をいただき、「学校給食で米飯を提供した方が良い」が58%、「家庭から」が14%、「どちらでもよい」が25%だった。

た。また、完全給食を希望した保護者のうち92%が「給食費が高くなっても米飯を提供してほしい」と回答しており、完全給食を望む声の大きさを痛感している。



アンケート結果を踏まえて町長の判断は。



町長 米飯給食を実施するために必要な備品等は将来、給食センターに移行後も手元に残る形で準備をしなければならない。

本年度中の補正予算で措置をし、早急に実施を検討する。

7月5日、6日の日程で、町長、議長他5名により、目達原駐屯地周辺の民生安定、周辺整備事業の推進等について今村雅弘衆議院秘書の案内で、総務省、防衛省、県選出国會議員へ諸般の懸念事業を要望し、一定の感触を得た。

◆基地のまち吉野ヶ里

昭和43年に西部方面隊へ、ヘリコプター隊の新編以来、格納施設の増設や補給処再編による施設移転等も実施されている。

要望活動

その後のA H 64 D (アパッチ)の換装や、市街地上空での早朝や夜間、曜日問わずに行われる年間12595回の(平成29年度実績)に及ぶホバリング等が実施されている状況である。騒音等の地域住民の苦情や不安の解消を図るべく事情を勘案いただき、次の事項を願う。

(要望書の要約)

◆基地交付金の増額

駐屯地全施設を対象資産と定め、固定資産税の算定基準による交付金増額を願う。

◆周辺整備交付金

生活環境整備の充実を図るために交付金の増額などにより柔軟な対応を願う。

◆ヘリ騒音対策

特異な環境下にある目達原飛行場の防音対策を願う。

◆第1種区域の緩和

環境基本法の緩和、建築住宅防音工事についての補助対象となるよう願う。

◆保安用地の拡大

駐屯地周辺住民から、

保安用地拡大を願う。

◆空調機器機能復旧工事

第1種区域内の住宅に對する、空調機器機能復旧工事の補助金の早期採択を願う。



要望団一行(総務省)



要望団一行(防衛省)



活発な質問が繰り広げられた子ども議会



第5回議会報告会開催

9月29日中央公民館において第5回議会報告会を開催した。新議会となり初の開催である。

報告事項として、議会の概要、平成30年度当初予算概要、定例議会報告、全員協議会報告、文化体育館、里山ふれあい広場、東部環境施設組合、西石動及び下石動工業適地開発、西日本豪雨災害に対する本町の対応など、町の喫緊の課題と現状について報告した。

参加者より活発な質疑やご意見を受け、大変有意義な議会報告会となった。

当日は、台風到来の前日という事もあり、大変足元が悪い中での開催にも関わらず、35名の参加を頂いたことに感謝申し上げます。



2018 09 29

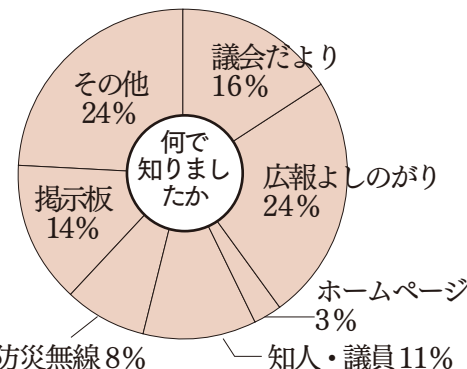
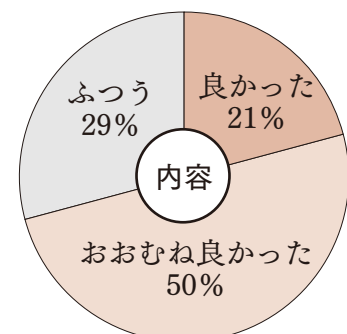
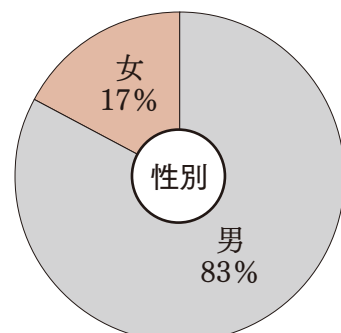
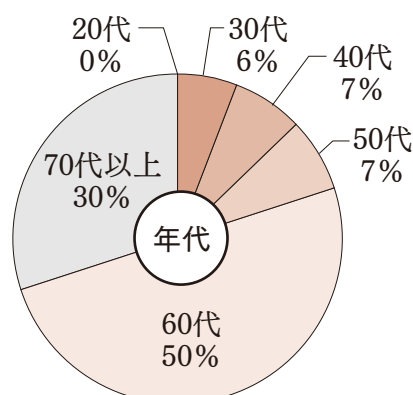


2018

参加者アンケート

主な質疑や意見

- 町は、ふるさと納税を増やすような企画・行動をとっているのか。
- 観光客を呼び寄せるような方策・情報発信・行動をされているのか。
- 活用できるような防災無線を考えてほしい。
- 文化体育館建設に伴い、これ以上建設予算が膨らまないか心配。
- 給食センター建設について進んでいるのか。
- さとやま交流館について、多額の維持費がかかる。具体的な活用策を考えるべき。
- オスプレイの佐賀空港配備に伴う町の人口減が心配。



こども議会

8月23日町内小中学校生徒11名による子ども議会が開催された。開催に先立ち、8月7日、議員との一般質問の事前研修会も実施した。町政に対して問題意識を抱き、素案を作り上げてきた生徒たちに、我々議員も驚かされた。以下、子ども議員による一般質問の事項を紹介する。



事前研修会の様子

- ◆安全安心な暮らしについて 福光 葵
- ◆お年寄りにやさしい町づくりについて 足立 楓花
- ◆化粧マンホール蓋による観光PRについて 楠見 一喜
- ◆交通安全について 太田 彩花
- ◆農業振興について 北島 直幸
- ◆農産物のブランド化について 田中 凜
- ◆図書館建設について 古館 和武
- ◆ゆるキャラによる観光PRについて 村岡 さらさ
- ◆体育館へのエアコン設置について 森 優仁
- ◆特産品開発について 古賀 彩華
- ◆岩本 瑞果

全議員研修

10月2日、3日、4日に岩手県と青森県にて全議員研修視察を行った。

岩手県紫波町では民間活力を用いた町作りについて研修を行った。

紫波町は「日本一高い雪捨て場」と揶揄された10haに及ぶ塩漬けの駅前町有地を、「オガールプロジェクト」として、視察件数日本一を誇る町へと成長させた。

PPP（官民連携）による手法で、ビジネス、観光、スポーツ、公共施設と、多方面からの目的を有する利用者が一堂に会する土地開発手法が奏功し、年間85万人を超える賑わいをみせている。

そして、「そこは白い地獄であった」との映画のキャッチフレーズで一世を風靡した「八甲田山」を通り、青森市の三内丸山遺跡にて、遺跡財産を活

かした町作りの研修を受ける。5500年前の縄文人の生活の営みを通して、同じ遺跡の町としてこれからの在り方も考えさせられた。

本町でも今後、駅及び歴史公園周辺の開発も視野に入れて町作りを進めることになる。本町と同様の課題と成果を両市町を通じて学んだ。



オガールプロジェクト(紫波町)



三内丸山遺跡(青森市)

意見書

9月定例会

児童虐待防止対策の強化を求める意見書

※本町議会が発議した意見書である。

全国の児童相談所に寄せられる児童虐待の件数は、近年増加の一途を辿っている。

児童虐待発生予防から発生時の迅速かつ的確な対応等早期に児童福祉法等の改正案を国会に提出するとともに、以下の事項についても速やかに実施するよう強く要望する。

- 一、児童虐待の予防に向け、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行うこと。
- 二、児童相談所全国共通ダイヤル「189」の更なる周知を図り、緊急性の判断を的確に行える体制の整備に努めること。
- 三、児童相談所と各自治体・学校・警察等との

連携体制を再構築し、共同で対応する仕組みを全国で構築すること。

四、児童虐待が発生した場合、弁護士を活用等に積極的に取り組むこと。

五、一時保護所における環境改善を早急に図り子どもが安心して養育される環境を整えること。

六、児童虐待の未然防止に向けそれぞれの分野で十分な連携を行うためのネットワークづくりを支援すること。

七、要保護児童の保護を第一に、民法や児童福祉法などの関係する法律の改正や通達を行うこと。

【他の意見書】

●下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書

●地方財政の充実・強化を求める意見書

編集後記

猛暑が続いた夏が終わったかと思えば、今度は次々に発生する大型で強力な台風の襲来、それらのコースも今までとは全く異なっており、どこに来るのかわからない。これらの原因が地球温暖化と言われているが、であれば今後ますますその影響はひどくなるばかりである。

そして、各地で発生している地震も脅威であり、主に南海トラフが話題となっているが、町も、真下を佐賀平野北縁断層が通っている。

いつ、どこで、何が起きるか分からない。常に危機感をもって過ごしたいものである。(茂)

○議会広報特別委員会

委員長 森田 浩文
副委員長 馬場 茂
委員 立石 良雄
多良 光英
古川 勲
古川 清春